



ぼらんていあ通信

5月号
通巻 No.474

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会 2021年5月25日

連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内

TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp HPアドレス: <http://sagamiva.info/>

協会新会員に電話インタビュー

ボランティア活動再開を待ちわびて！

新型コロナウイルス感染収束に備える

昨年度、新しくボランティア協会会員になられた3人の方に電話インタビューに応じていただいた。

★ 岸千枝子さん

きしちえこ

＊ボランティアを始めるきっかけを。

「定年後、何か人の役にたつことを

やりたいと考えていました。友人から、ボランティア協会のことを教わり電話しました。

運転免許証を持っていたので、ハンディキャブ運転ボランティアならできるのではと思いました」

＊それで国土交通省認定の福祉有償運送運転者講習会を受講されたのですね。

「ええ、去年10月修了資格を得て活動を始めました」

＊実際にやってみてどうですか？

「自分で運転するときも緊張しますが、人様をお乗せするとなるとさらに緊張の度合いが増しますね」

＊心がけていることはありますか？

「まだ夢中でやっている段階ですが、できるだけ快適に送り迎えをしたいというつもりです」



＊活動中のエピソードはありますか？

「前日に下見に行ったことがあるのですが、さすが当日は迷わずに利用者さん宅に行けました。地図を頼りに家まで辿り着くのが結構大変です。あるとき、帰る途中で薬屋さんに寄ってと言われ迷いましたが、結局寄りました。後で協会に話したら、臨機応変に対処していただければよかったことがありました」

岸さんは「セダン方式（運転者の自家用車を使用して行う運行）」で活動されている。



★ 河鍋義男さん

かわなべよしお

＊どのようなボランティアをされているのですか？

「市の防災マスターの認定を受けて

いる関係で家具の転倒防止ボランティアをしたいと思っていますが、このコロナ禍でまだ活動はできていないんです」

＊また現状で働いていらっしゃるわけですが、ボランティアとの両立は大変では？

「会社の協力があってできるわけで、ボランティア活動があるときは、会社で時間調整し



てもらったり、平日の休みも認めてくれて今まで相武台団地の管理組合や自治会活動もやれました。ボランティアをやったことは、人との繋がりが強くなるということですね」

＊家具の転倒防止ボランティアを増やす妙案はありますか？

「DIYが好きな人でないとやれないと思っている人が多いと思いますが、2人1組で仕事をやるので、補助してくれるだけでもいいので、もっと参加して欲しいですね」



★ 高木博見さん

たかぎひろみ

＊ボランティアを始めるきっかけは？

「かねてからお役に立てることがあればやってみたい

と思っていました。幸い娘の嫁ぎ先が関係するので、家具の転倒防止ボランティアならと協会に会員登録をしました」

＊どんな風にやりたいとお考えですか？

「可能な限りニードにお答えしたいですね。ボランティア協会から活動の説明を受けて早く活動したいと楽しみにしています」

＊奥さまの反応はいかがですか？

「早々できるよというふうにいわれています。そう



6月の記念日は？

小倉義男

6月18日、おにぎりの日。

石川県鹿西町（現：中能登町）の竪穴式住居跡の遺跡から、日本最古のおにぎりの化石が発見されたことで、鹿西町が「おにぎりの里」としての町興しのために制定した。鹿西のろく（6）と、毎月18日の「米食の日」から6月18日が選ばれたそうです。

ちなみに、おにぎりとおむすびの違いは？三角形（山型）が「おむすび」で、形にこだわらず自由ににぎったものが「おにぎり」だそうです。

知ってましたか？

小倉画



「つらつら頑張つてたけれど、と後押ししてつれてくます」
皆さんが共通して、ボランティア協会の存在が余り世間に周知されていないことを残念がっていた。
本当に！ もっと協会の宣伝をしなくては！
とにかく新型コロナウイルスの感染が早く収束して平常の生活に戻って欲しい！
そして、ボランティア活動を思い切りやりたいもの！
（山崎）



Twitter

ぼらんていあ通信版 ツイッターコーナー

木地本 和子
きじもと かずこ



境川の共和橋近くへ越えてきて40年目になりました。川沿いや町田市の尾根緑道、小山田緑地など、緑豊かな環境の散策を楽しんできました。40年前は緑地を歩く人は少なかったのですが、家が建ち緑地も整備されていき、今では歩く人がずいぶん増えてきました。
自宅近くの境川を挟んだ町田市側は畑や雑木林がまだたくさん残っていて、植物や鳥の観察もできるいい所...と思っていました。

ところが、今年に入り広い畑の数カ所に次々と「宅地造成」の看板が立ち始めました。樹木を切り払い、土を掘り返す工作車の音が響き、今回の規模の大きさが分かりました。

20〜30年前までは、何面もの田んぼがあり、オタマジャクシや川エビを親子で採ったりしたものです。少しずつ田んぼはなくなり最後の小さい田んぼも畑になってしまいました。

畑作をがんばっている農家の方々には、ぜひこのまま続けて欲しいと願うばかりです。

思えば自分たちも当時畑だったところに家を建て越して来たのです。次から次に家が建つことになったのは、自分勝手な話かもしれませんが...。あと半年もすればこの辺りに何十軒もの家が立ち並び、今とは違う風景が広がることでしょう。それでも私は小さな自然を求めて、鳥や植物の観察をしながら川沿いを、畑の脇を、毎日のように犬と散歩したいと思っています。

クイズに挑戦

世界最大の動画共有サイト「YouTube」（ユーチューブ）についてのクイズです。

①世界で初めてユーチューブに投稿された動画が撮影された場所はどこだったでしょうか。

- ア、社長室 イ、喫茶店
ウ、動物園 エ、電車の中

②サービスを行っているアメリカの会社は？

- ア、マイクロソフト イ、アマゾン
ウ、グーグル エ、アップル

③ユーチューブとは何の意味？

- ア、地下鉄 イ、レストラン
ウ、テレビ エ、電線



ボランティア協会DVDのイメージキャラクター 山口尚美さんに作成していただきました！

ボランティア協会の事業内容をわかりやすく解説したPR用パワーポイント2編

「認定特定非営利活動法人相模原ボランティア協会」

「NPO法人相模原ボランティア協会 ハンディキャップ編」

に、ぼらんていあ通信でも毎月イラストを掲載していただいているイラストレーターの山口尚美さんに、協会の活動をイメージしたキャラクターの作成をお願いしたところ、こんなにかわいいキャラクターが誕生しました！



市内活動グループ訪問記

おジャマシマ

活気あふれる「出張ミヤタ珈琲」さん



5月14日(金) 午前

この時期にはすっかり暑々たる陽気の中、相模原警察署そばの西門商店街に向かいました。閉店



かわゆるい顔絵のマグネット

しているお店もけっこう目につくがその一角に、にぎわっている場所があり、ドアを開けるや若い人たちの賑やかな声に迎えられ、思わずビックリ。ここが今日の訪問先である出張ミヤタ珈琲さんが所属する「西門第三図工室」です。

管理者の有井慎さん、支配人の宮田貴文さん、職員の高永隆太さんにお話をうかがいました。

運営は「社会福祉法人アトリエ」。「西門第三図工室」のほか、橋本にある「はしもとアートルボビジュッ室」の2ヶ所で活動しています。西門は絵画や陶芸、3Dプリンターを用いた制作など、さまざま



出張ミヤタ珈琲の(左から)里村さん、田口さん、宮田さん

なものづくりに取り組める場所となっていて、橋本でも絵画を中心とした活動をしています。他にも特徴的なのが、事業所の利用者の好きなこと、得意なことを起点と

した活動です。ありがと、と言われることが好きな人が始めた何でも屋の「不便利屋」、お菓子づくりが得意な人が始めた「ラッキークッキーカンパニー」など、それぞれを一つの仕事として実現。そして、カフェ店長をやってみたかった田口恵美さんをサポートする形で、県立相模原公園内の植物園カフェでコーヒーのドリップや接客を担当していたのが、宮田さんと里村雄治さんです。ふたりは「出張ミヤタ珈琲」として市内各地に赴き、コーヒーを淹れるほか漫才も披露します。今は長引くコロナ禍なので、外に出ていく活動は自粛しているそうです。

図工室ではこの期間、将来につながる実績づくりを考えると、さまざまなかコンテストにも応募して成果も出ています。一歩踏み込んだクオリティの高いものに仕上げる努力をしています。

スタッフはパートを含めて8人在籍していて、利用者は12名。「出張ミヤタ珈琲」としてほかほかの雰囲気に参加して下さったことが縁ですが、ここ2年ほどは思うような開催ではありませんでした。しかし今年度は更に工夫をして今までと違う「ほかほか」ができるのではないかと、ほかほか実行委員会でも検討中だそうです。

作業部屋には陶芸作品や多くの土偶が置かれているなど、さまざまなお品が飾られています。

急に賑やかになってお昼タイム。とても和やかな楽



漫才を披露する里村さん(左)と宮田さん

しい雰囲気です。一人一人の個性を活かして、一つ一つ仕事化する。10人いれば10通りの素晴らしい物ができるのです。複雑なことが多くて理解がむずかしいが楽しくやっていると。お互いのつながりで若者が入って活動をはじめ、商店街にも活気も生まれてきているのでは。

最後にお聞きしたのは、

「20人、20通りのやり方で作り出す」

「出来ることを引き出して社会に発信する」

「わからないことを楽しむ」

でした。私には難しすぎて分からないことばかりでしたが、ここにいる利用者さんスタッフの皆さんが生きて活力をみなぎらせていらっしゃるのをひしひしと感じました。

宮田さんと里村さんに淹れていただいたコーヒーは、とても美味しかったです。ありがとございました。(恒藤、植野)



図工室の田口恵美さんが制作した土偶



※ 出張ミヤタ珈琲(西門第三図工室)

相模原市中央区相模原6-24-6

グリーンバザール西門内

TEL・FAX 042-711-8019

管理者 有井 慎

理事会報告



5月8日(土)
次期就任予定理事顔合せを開催(6名出席)

一、高橋会長挨拶

二、新旧理事の自己紹介

三、協会の活動の概略説明

*理事会の日程

*委員会組織の説明

*誓約および就任承諾書について

次回理事会 5月23日(日) 総会終了後

*通常総会の報告は6月号に掲載します。

2021年度役員紹介

理事 大貫 栄(留任)

加藤 修(留任)

渋谷 久美(新任)

高橋 功(留任)

恒藤 玲子(新任)

西本 敬(新任)

はねだ ひさし(留任)

羽田 彌(留任)

松原 俊(新任)

勝部 幸三(留任)

杉本 栄治(新任)

監事

使うのはどっち?

「貼付」の読みは、「ちょうふ」VS.「てんぷ」のどちらでしょうか?

「貼付」は、正しくは「ちょうふ」と読むが、「てんぷ」も慣用読みとして認められています。

「攪拌」など、慣用読み(かくはん)のほうが、漢字本来の正しい読み方(こうはん)より優勢なものもあるそうです。

*慣用読みとは、正統的な読み方ではないのですが、習慣として一般に広く行われている読み方です。

相模原ボランティア協会 6月の予定

日	時間	内容
1(火)	10:00~	講座検討委員会
6(日)	10:00~	HC委員会
11(金)	18:30~	ほかふれ実行委員会
12(土)	10:00~	定例理事会
15(火)	13:00~	広報委員会・ぼら通部会
19(土)	13:00~	事務局委員会
21(月)	13:00~	ぼら通6月号印刷
22(火)	10:30~	傾聴委員会
22(火)	13:00~	ぼら通6月号発行

クイズの答え

①は、ウ、の動物園

16年前に同サイトで初めて流れた動画は、ユーチューブ創業者のジョード・カリム氏が投稿した18秒の動画だった。「Me at the zoo(動物園にて)」と題されたこの動画は、これまで9000万回以上再生されている。

動画には当時のカリム氏が登場し、動物園のゾウをバックにときおり後ろを振り返りながらカメラに向かって語りかけている。

②は、ウ、のグーグル

③は、ウ、のテレビ

「tube」には「ブラウン管」という意味があり、ここから「テレビ」を表すのにも使われています。

今夏もNPO法人れんきょうさんの受託販売が始まりました!

～ 島原手延べそうめん ～

★★★★ 販売商品 ★★★★★

- ①島原小町(化粧箱入り) 標準小売価格3,564円 ⇒ 2,400円
麦皮・胚乳・胚芽小麦をまるごと挽いた粉を使った
全粒粉入り手延べそうめんです。 50g×18束入
- ②麺ごころ() 標準小売価格4,320円 ⇒ 2,900円
50g×30束
- ③麺ごころ(桐箱入り) 標準小売価格5,940円 ⇒ 3,700円
50g×40束

※販売期間 2021年5月6日(木)～2021年8月31日(火)

※販売時間 午前10時～午後4時(月～金)

※販売場所/商品お渡し場所

あじさい会館内4階 福祉団体室

お問い合わせ先(れんきょう事務所)

042-755-5282



理事のつぶやき

「バリアフリーへの思い」

おの
小野 明雄
あきお

伊豆の爪木崎^{つばき}へ向うバスは伊豆下田駅から小さな集落を順繰りに巡ります。バス停のベンチでお年寄りが数人雑談中でしたが、バスは少しスピードを緩めただけで通り過ぎました。心配する私たちに運転手さんは「いつものことですから」とにっこり。日当たりの良いバス停のベンチが憩いの場になっていたようです。

新型コロナウイルスのおかげでスーパーのイートインコーナーは閉鎖、あじさい会館もロビーの椅子は片づけられました。お年寄りの運動不足と言いながら、散歩に出たときの一眼の場所が少なくなりました。

バリアフリーが叫ばれています。日常の外出にはまだまだバリアは多いようです。近所の方も買い物にはカートを使うように指導されて使ってみたが、道路の端は斜めで、段差も多く、障害物も多いので苦労すると言っておられました。私も父の通院の際の車いす介助で道路の端は歩きづらく、なるべく中央寄りにしていたことを思い出します。

ハンディキャップの利用者の方がひざの痛みがあり、止むを得ずバスに乗るときにステップのあるバスが来ると大変だと言っておられました。ノンステップバスが多くなりましたが、ときどきノンステップのあるバスに出会います。そういえば、以前は時刻表にノンステップバスの表示がありました。いつから無くなったの

でしょうか。今はステップバスを表示してほしいものです。

交通安全のために相模原市では交差点などに白い鉄製ポール（名前が分かりません）を立てています。赤い反射板にあじさいの絵がついています。現在進行中の交通安全計画の一環でしょうか。これがお年寄りにとっては一休みの大切な道具となっています。「手をかけて一息」と父の散歩のときも大変役に立ちました。

この相模原市交通安全計画では、交通安全対策を進める視点のなかで、高齢者及び子供の安全確保として、「高齢者の社会参加を促進するため交通環境のバリアフリー化を進める」このため、「交通安全施設、道路標示、歩道等の道路交通環境の整備を推進する必要がある」とあげています。

バリアフリー対策は幅が広く、実施には長い時間がかかると思いますが、そろそろこれが必要とする年齢に近づき、山歩きから散歩中心になった私にとっては気になることも多くなりました。主要道路の電線の地中化がすすめられています。住宅街の電柱が「危険」になっていることにも目を向けてほしいと思います。

北公園にある、ユニークな別名（ナンジャモンジャ）を持っている「ヒトツバタゴの木」

撮影・小野明雄



あら、ほんと？

私たちは ウイルスの世界に生きている！

ヒトのゲノム（全遺伝子情報）の約8%は、遠い祖先が感染したウイルスに由来する。そうした遺伝子の一部は、胚の初期の発達や、胎児と母親を結ぶ胎盤の形成などに重要な役割を果たしているようだ。

フランス・パリの人類博物館で人の骨格のそばに置かれているのは、ネアンデルタール人の頭骨。アフリカを出た現生人類は、ネアンデルタール人と交配した。彼らから受け継いだ遺伝子は何十万年もかけて進化したものだ。ネアンデルタール人由来の遺伝子のうち、免疫反応を高めるものが152個特定されている。これらは、私たちの祖先を未知のウイルスから守る役目をしたとみられている。

*ナショナルジオグラフィック日本版2月号より

Episode

ボランティア・エピソードを大募集！

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う「まん延防止等重点措置」が開始されてから1か月。ボランティア活動をしたくてもできないという方が、少なからずいらっしゃると思います。

「一体いつになったら活動できるのか…」ため息が出る日々が続きますが、そんな時は皆でボランティア活動に関するエピソードを共有し、元気になりましょう！

今回のテーマは、「ボランティア活動への想い！」「再開できるようになったら、こんな活動がしてみたい」「私が感じるボランティア活動のやりがい」「これまでの活動で印象に残っているエピソード」「ボランティアを必要とする方々に向けたメッセージ」など、皆さんの声を自由にお寄せください！

電話・メールなど、どの方法でも結構です。たくさんのご応募をお待ちしています(^^♪

※いただいたエピソードは、いかバンク通信やボランティアセンターSNSでご紹介します！

(掲載の場合は、事前にご連絡します)

※メールの場合は、エピソードとともに、お名前と連絡先もお送りください。

(お名前・連絡先は連絡用で、外部には公開しません)



*連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所 : 電話 042(759)7982

相模原市社協 中央ボランティアセンター: 電話 042(786)6181

FAX 042(786)6182

メール svc@sagamiharashishakyo.or.jp



山口尚美画

《今月のイラスト
…いただきました！》

編集後記

「コロナ禍で自身の健康上の問題で遠出が難しい今、家の近くに散歩のできる公園があるというのはとてもありがたい。」

早春のまんさくから始まって、梅、桜、桃と目を楽しませてくれた。花みずきが散り、しばらくは緑一色。ところで花みずきって明治時代にフシントンに贈ったソメイヨシノの返礼なんですよ、ご存じでしたか。

(三)

ご寄付をありがとうございました

皆様のご寄付は当協会の運営に有効かつ大切に使用させていただきます。

<4月の寄付者>

西本 敬 様

その他26名の方からご寄付をいただきました。

<4月の寄付金>

総額 44,680 円でした。

